

# 〈東邦〉 なるほど ガイド



東邦銀行 平成18年度中間期(9月)  
104期 営業の中間ご報告/ミニディスクロージャー誌



2 0 0 6 T O H O N A R U H O D O G U I D E



こころときめいて、くらしかがやいて。

東邦銀行

# ごあいさつ



皆さまには、日頃より東邦銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

さて、わが国経済は、海外経済の拡大を背景とした輸出の伸びに加え、企業部門の好調さが家計部門にも波及するなど、緩やかな拡大基調を維持しておりますが、当行が主たる営業基盤としている福島県内の経済につきましても、中央の経済拡大基調に対して若干の遅れが感じられるものの、生産活動や雇用情勢面で改善が進んでおり、回復基調にて推移しております。

こうした中で、当行は地域金融機関としての役割を踏まえ、多様化・高度化するお客さまのご要望にお応えするため、投資信託を中心とした金融商品の充実、インターネットバンキングシステムの稼働、個人向けローン専門店の拡充等、利便性を追求した商品・サービスのご提供、さらには、経営支援・事業再生、創業・新事業支援等、地域経済の活性化に向けた取組みを積極的に展開しております。

また、当行は、平成18年4月より「トップライン強化プラン」「地域活力サポートプラン」「働きがい倍増プラン」「ガバナンス強化プラン」を重点プランに掲げた新たな中期経営計画「TOHO躍進プラン2006」をスタートさせました。

本計画を着実に実行し、地域における存在感・企業価値を向上させることにより、お客さま・地域からの信頼に応え、市場・株主の皆さまからも高く評価される金融グループを目指してまいります。

東邦銀行は、今後とも、地域のお客さまのご要望に即した満足度の高い金融サービスの提供に努めますとともに、皆さまとともに歩む地域のリーディングバンクとして、地域社会の持続的発展に貢献してまいります。

平成18年12月 取締役頭取 **瀬谷 俊雄**

## プロフィール

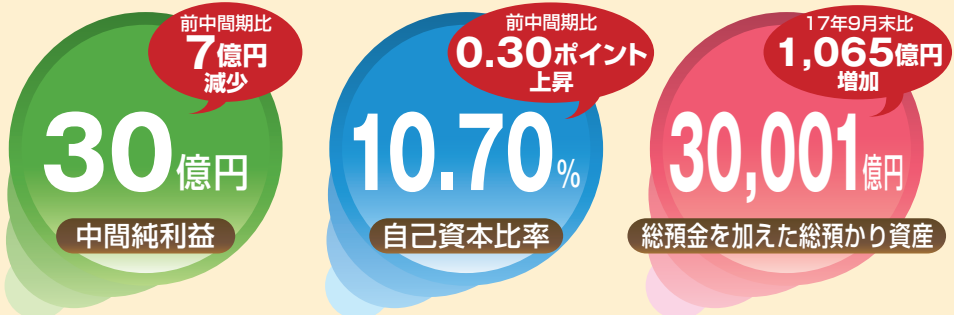
平成18年9月30日現在

設 立	……………	昭和16年11月4日
本店所在地	……………	福島市大町3番25号
店 舗 数	……………	本支店114 (県内106、県外8)
資 本 金	……………	186億84百万円
従 業 員 数	……………	1,976人
総 資 産	……………	28,143億円
預 金	……………	25,236億円
貸 出 金	……………	18,604億円

## 目 次

- 2 ● 中間決算ハイライト
- 3 ● 東邦銀行の考え方
- 4 ● 東邦銀行の計画
- 6 ● 損益の状況
- 7 ● 総預金と貸出金の状況
- 8 ● 不良債権の状況
- 9 ● 地域経済活性化への取組み
- 10 ● 地域のお客さまの利便性向上に向けた取組み
- 12 ● 地域貢献活動
- 13 ● 18年度中間決算のご報告
- 15 ● グループの18年度中間決算のご報告
- 17 ● THE TOHO BANK NOW
- 18 ● 株式についてのご案内・役員

18年9月期当行は安定的な収益を確保するとともに、さらに健全性を高め、皆さまから高い信頼を得ています。



## 自己資本比率（単体）

銀行の健全性をあらわす自己資本比率は10.70%となり、国内基準の4%を大きく上回っています。

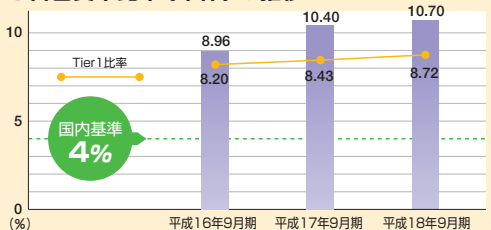
銀行経営の健全性を測る上で重要な指標となっている自己資本比率（単体）は10.70%となり、国内基準の4%を大きく上回っています。

また、Tier1比率（コアの自己資本比率）は8.72%となっております。

### ●自己資本比率●

自己資本比率は銀行の信用度、健全性を示す重要な指標です。海外で業務を営む銀行は8%以上（国際統一基準）、当行のように国内のみで業務を営む銀行は4%以上（国内基準）を維持することが義務づけられています。

### ●自己資本比率（単体）の推移



### ●Tier1比率●

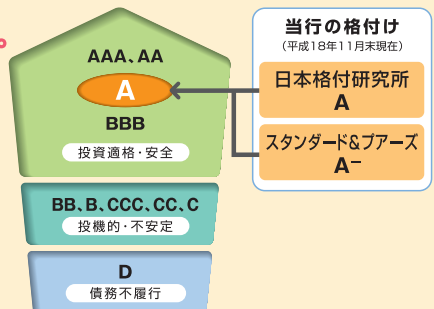
自己資本比率における自己資本は、資本金、資本剰余金、利益剰余金の基本的項目（Tier1）と、一般貸倒引当金等の補完的項目（Tier2）とに区分されます。Tier1比率は、補完的項目（Tier2）を除くコアの自己資本比率と言えます。

## 当行の格付け

投資適格水準との評価を得ています。

経営の健全性と安定性に関しては客観的な評価が大切です。「格付け」は、利害関係のない第三者である格付機関が企業の信用度や債務履行能力等を簡潔な記号で表したものです。最近では、企業の安全性を客観的に評価した指標として、広く知られるようになっております。

当行は、日本格付研究所から「A」の長期優先債務格付けを、またスタンダード&プアーズ社より「A-」の長期発行体格付けを取得しており、いずれも投資適格水準となる評価を得ております。



## 《地域金融機関としての役割・使命》

「地域を見つめ、地域とともに歩み、総合的な金融サービスをもって“ふくしま”の発展とお客さまの豊かな暮らしづくりのために力を尽します。」

これは私どもが掲げている企業理念の一つ「社会的使命」であり、地域のお客さまとのリレーションシップ（信頼関係）を築き幅広い金融ニーズにお応えすることこそが、福島県のリーディングバンクとしての役割であり使命であると考えています。

お客さまの視点に立ち、最適かつ有益な情報をご提供する、さらには付加価値の高い金融サービスをご提供する。これらのことを通じて、東邦銀行は地域活性化、そして地域経済の発展に貢献してまいります。

## 東邦銀行の企業理念

当行では、平成3年11月の創立50周年時に掲げた以下の企業理念に基づいた経営を心がけております。当行役職員一人ひとりがこの企業理念に沿って行動することを通じて、お客さま・地域からの信頼に応え、また、市場・株主の皆さまからも高く評価される「21世紀のベスト・リージョナルバンク（最も優れた地域金融機関）」を目指してまいります。

### 東邦銀行

#### 社会的使命

**地域を見つめ、  
地域とともに**

私たちは、地域を見つめ、地域とともに歩み、総合的な金融サービスをもって「ふくしま」の発展とお客さまの豊かなくらしづくりのために力を尽します。

#### 経営姿勢

**お客さまの  
満足のために**

私たちは、進取・積極の精神と健全な姿勢を基本とし、心が通いあう活きた組織をもってお客さまの満足のために汗を流します。

#### 行動規範

**新しい感覚と  
柔軟な発想を  
持って**

私たちは、ふるさと「ふくしま」を愛し、新しい感覚と柔軟な発想をもって自分を磨き、お客さまの信頼に応えることを喜びとします。

## 中期経営計画

当行は平成18年4月より計画期間を3年間とする新たな中期経営計画「TOHO躍進プラン2006」をスタートさせました。

当行の“存在感”すなわち企業価値の向上に向け4つの重点プランを設置し、常に「お客様の目線」を忘れることなく、全役職員が一丸となって本中期経営計画の実行に取組み、“21世紀のベスト・リージョナルバンク”を目指してまいります。

## 中期経営計画の体系図

株主の皆さま

お客さま

地域

市場

目指すべき銀行像(長期ビジョン)

### 21世紀のベスト・リージョナルバンク

お客さま・地域からの信頼に応え、市場・株主の皆さまからも高く評価される金融グループ

## 中期経営計画

### 名称: TOHO 躍進プラン 2006

【計画期間:平成18年4月1日～平成21年3月31日】

〈メインテーマ〉

「地域における存在感」・「企業価値」の向上に向けて  
～150週の挑戦～

#### 計数的な計画(最終年度)

- 県内貸出金シェア…………… 40%目指す
- 消費者ローン残高…………… 6,000億円
- 投資商品残高…………… 6,000億円

#### 経営指標(最終年度目標)

- 当期純利益…………… 75億円
- コア実質業務純益…………… 170億円
- ROE…………… 6%程度
- 自己資本比率…………… 11%程度

### 重点プラン

#### \*トップライン強化プラン

- マーケット別営業力強化戦略
- チャネル・商品・手数料強化戦略
- マーケット運用強化戦略
- CS重視の事務処理体制推進戦略
- 関連グループ連携強化戦略

#### 地域活力サポートプラン

- 経営支援・事業再生推進戦略
- 利用者の利便性向上戦略
- 地域密着型金融推進戦略

#### 働きがい倍増プラン

- 活力ある企業風土確立戦略
- 営業店自主性発揮戦略

#### \*ガバナンス強化プラン

- 法令等遵守態勢の充実・強化
- 説明態勢、苦情・相談処理機能等の充実・強化
- リスク管理態勢の充実・強化
- 内部統制システムの強化
- 配当戦略の見直し

※トップライン強化…お客さまとの関わりを持つ営業の第一線の強化等を通じ、資金利益や役員取引等利益等、業務粗利益の拡大を目指すこと。  
※ガバナンス…企業統治。企業経営をどのように管理していくかということ。

## 地域密着型金融推進計画（平成17年4月～平成19年3月）

当行は、金融庁より公表された「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」に基づき「地域密着型金融推進計画」を策定し、「事業再生・中小企業金融の円滑化」「経営力の強化」「地域の利用者の利便性向上」を3つの柱に、今まで以上に地域の特性やお客さまのニーズに配慮した取組みを進めております。

これまでの進捗状況は下記の通りです。

### 「推進計画」の進捗状況（平成17年4月～平成18年9月）

#### 1 「事業再生・中小企業金融の円滑化」への取組みについて

- 事業再生や経営改善支援については、対象企業の再生支援のみならず、従業員の雇用維持等、地域経済に大きく貢献しております。今後は、当行取引先以外にも対象策を拡大し、対応を検討いたします。
- 創業・新事業支援面においても、東北のベンチャーファンドに1億円の出資を行うなど、引続き投資対象先の発掘、紹介等を含めた地元企業の支援、育成に努めてまいります。

#### 2 「経営力の強化」への取組みについて

- 法令等遵守、リスク管理、内部統制等に関しては、計画に沿った相応の態勢整備が図られてきており、日本版SOX等対応が必要な課題も、スケジュールリングを行い整備に努めてまいります。
- 収益力の面においては、平成18年上期は30億円の利益計上しており、中期経営計画の初年度として、順調なスタートとなっております。今後も、最終年度の収益目標達成に向けて更なる諸施策を実施いたします。

#### 3 「地域の利用者の利便性向上」への取組みについて

- 「CSアンケート調査」の結果を踏まえた「待ち時間短縮運動」や「店舗環境CS向上運動」等の実施により着実な進展が図られております。平成18年10月からは、営業統括部内に「CS推進室」を設置し、CS向上に対する態勢強化を図っており、一層本支店一体となった取組みを実施してまいります。



なるほど  
ワンポイント

#### 地域密着型 金融とは？

金融機関が、長期的な取引関係により得られた情報を活用し、対面交渉を含む質の高いコミュニケーションを通じて融資先企業の経営状態等を的確に把握し、これにより中小企業等への金融仲介機能を強化するとともに、金融機関自身の収益向上を図ることで、地域金融機関の営業形態そのものが「地域密着型金融」（リレーションシップバンキング）であるということが出来ます。

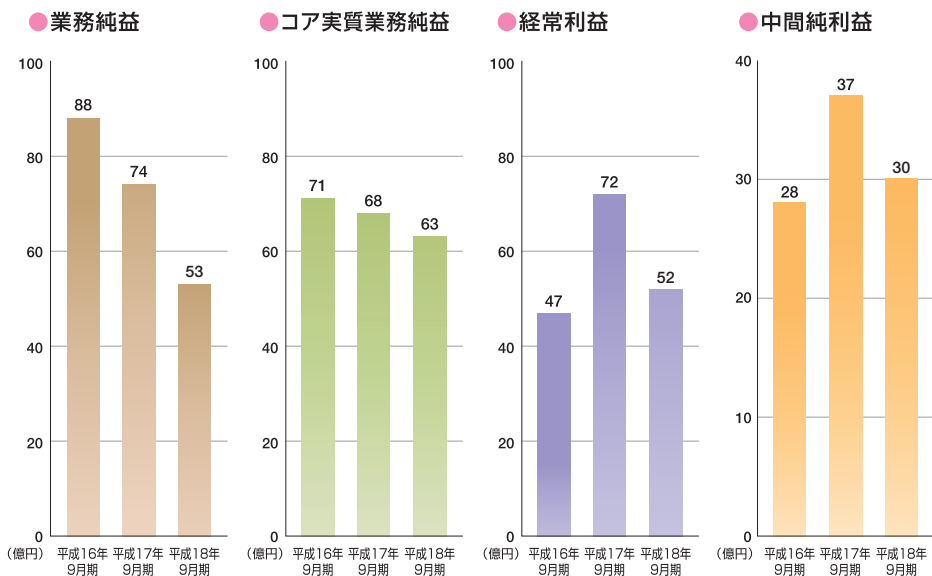
詳細は当行ホームページ <http://www.tohobank.co.jp/> に掲載しておりますのでご覧ください。

Q1 平成18年9月期の決算はどうでしたか？

A1 貸出金・役務収益の増強に取り組みましたが、有価証券売却益の減少により減益となりました。

当中間期も貸出金の増強に鋭意取り組んだほか、公共債・投資信託等の預かり資産の積み上げ推進による役務収益の増強および経費の削減に努めました。また、これまでの資産健全化に向けた各種取り組みの成果もあり、不良債権処理額は前中間期比減少いたしました。

しかしながら、有価証券売却益が前中間期比減少したことなどから減益となりました。



業務純益・  
コア実質業務純益

業務純益は、銀行本来の業務（資金の運用・調達、サービスの提供等）でどれだけ利益をあげたかをあらわす銀行固有の指標で一般企業の営業利益に相当します。

コア実質業務純益は、業務純益から一般貸倒引当金繰入額と債券関係損益の影響額を除いた利益です。

Q2

総預金と貸出金の状況はどうでしたか？

A2

総預金は2兆6,323億円、  
貸出金は1兆8,604億円となりました。

## ●総預金・預かり資産

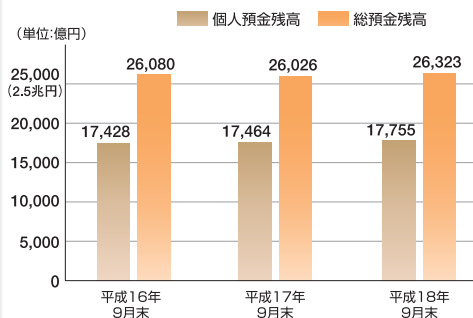
取引基盤の拡充に積極的に取組むとともに、お客さまの多様化する資金運用ニーズに適切にお応えし、預金および預かり資産全体での増加を図りました。その結果、譲渡性預金を含めた総預金は、297億円増加し2兆6,323億円となりました。

また、公共債・投資信託・個人年金保険を対象とした預かり資産残高は、767億円増加し3,678億円となり、総預金を加えた預かり資産全体では1,065億円増加し3兆0,001億円となり、3兆円の大台を突破しました。(平成17年9月末比)

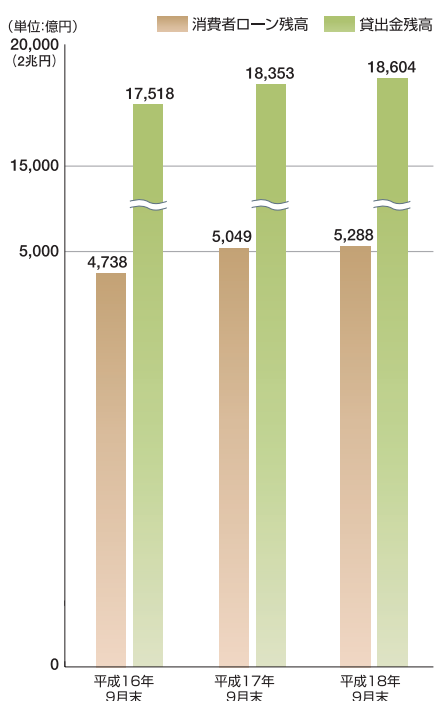
## ●貸出金

地域金融機関として地元中小企業との取引拡充に積極的に取組むとともに、住宅ローンを中心とした個人のお取引先向け融資の増強などに注力しました結果、貸出金は251億円増加し1兆8,604億円となりました。(平成17年9月末比)

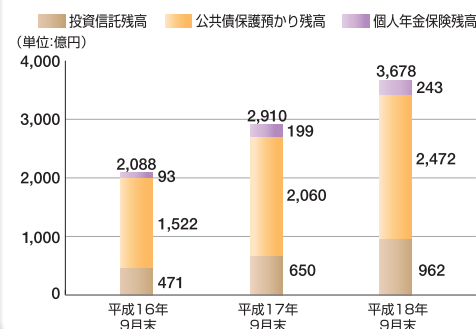
### ●総預金・個人預金残高の推移 (譲渡性預金含む)



### ●貸出金・消費者ローン残高の推移



### ●預かり資産 (公共債・投資信託・個人年金保険)





Q3

不良債権への状況はどうなっていますか？

A3

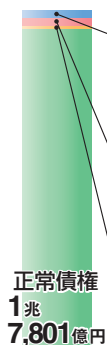
十分な引当を行い、健全性の確保に努めています。

金融再生法に基づく資産査定の結果、貸出金・支払承諾見返等の総与信のうち正常債権以外の債権は28億円減少し994億円(注)となっています。これらの債権については、担保等により保全を図るとともに、必要な部分については貸倒引当金により十分な引当を行い健全性の確保に努めています。

(平成18年3月末比)

(注) なお、当行では部分直接償却を実施していませんが、実施した場合は751億円となります。

## 金融再生法開示債権


**破産更生債権及びこれらに準ずる債権 390億円**

破産、会社更生、再生手続等の事由により、経営破綻に陥っているお取引先に対する債権およびこれらに準ずる債権のことです。

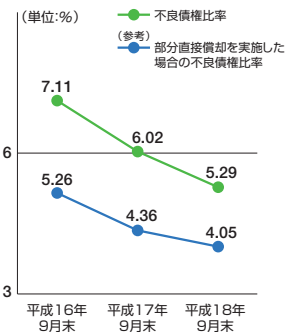
**危険債権 437億円**

お取引先が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権のことです。

**要管理債権 167億円**

3か月以上延滞している債権および貸出条件を緩和した債権のことです。

### 不良債権比率の推移



### 金融再生法開示債権の保全状況

(単位: 億円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)
		担保・保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	390	390	279	100.0
危険債権	437	350	160	80.0
要管理債権	167	70	27	42.0
合計	994	810	468	81.4


 なるほど  
ワンポイント

#### 金融再生法 開示債権

金融再生法(正式名称「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」)に基づく基準により、貸出金等の分類を公表しています。対象債権は貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返及び使用貸借又は質貸借契約により貸し付けた有価証券です。

#### 部分直接償却

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の担保・保証付債権について、債権額から担保の評価額および保証等により回収が可能と認められる額を差し引いた残額を、貸倒償却として債権額から直接減額することです。

## 経営支援・事業再生

本部専任チームの体制見直しおよび全行的な「改善運動」の実施により経営支援の取組み強化を図るとともに、様々な事業再生支援の手法を活用し事業再生・地域再生に向けた活動を積極的に展開しております。

特に、会津東山温泉の三旅館を統合し一体再生を図るという全国初の手法は、1旅館という「点」での再生にとどまらず、温泉街を「面」で再生させることを目的としております。



再生中の温泉街

## 創業・新事業支援

政府系金融機関との連携・ネットワーク強化、また、県内大学や各地商工会議所との業務連携推進等を図るとともに、産業クラスターサポート会議への継続参加による各種情報の提供等、創業・新事業支援への取組みを強化しております。

また、当行が新たに出資した東北グロースファンドへ県内のベンチャー企業等を紹介していくことで、地場企業の育成・支援に努めてまいります。

## 福島大学との連携

平成18年3月、国立大学法人福島大学との間で、それぞれが保有する情報・人的資源を活用し、その成果を積極的に社会へ還元することを目的として「連携協力協定書」を締結しました。

今後、地元企業に対する情報提供や技術アドバイス等の支援ならびに大学発ベンチャー企業が連携を希望する企業の紹介等を行ってまいります。

## ビジネスローンプラザ

事業性融資専門店である「ビジネスローンプラザ」では、中小企業・個人事業主の皆さまの資金ニーズに迅速にお応えするため、専門スタッフを配置し、当行とお取引のある方はもちろん、お取引のない方からも事業に関するご融資や経営に関するご相談をお受けしています。

また、よりお気軽にご相談いただくために、県内全域を対象として、電話・FAX・インターネットによるご相談もお受けしています。



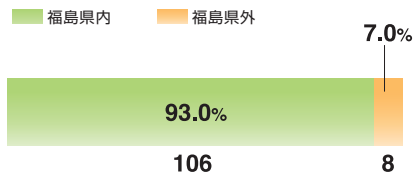
営業時間	月～金曜／9:00～17:00
電話でのご相談	☎0120-1047-17 <small>トホーなら いーな</small>
FAXでのご相談	☎0120-104-919 <small>トホー クイック</small>

## 店舗・ATM設置状況

当行は、総店舗数114店舗のうち106店舗、ならびに569台のATMを県内に設置するとともに、セブン銀行と提携し24時間365日利用可能なATMサービスを提供するなど利便性の向上を図っております。

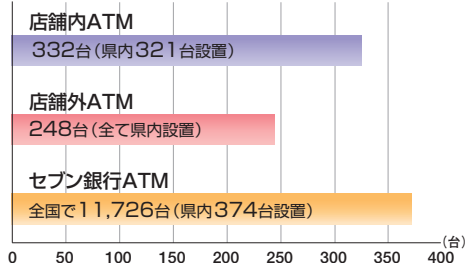
### ● 総店舗における県内店舗数・比率

平成18年9月末



### ● 当行のATM設置状況

平成18年9月末



## 個人向けローン専門店

質の高いローンサービスをより多くのお客さまにご利用いただけるよう、福島県内の各主要都市にローン専門店を設置し、平日の営業時間を延長するとともに、土曜日・日曜日も営業しております。また、住宅ローンをはじめ様々なローンに精通したスタッフがお客さまのご相談をお受けいたします。

### ● ローンプラザ福島



店名	営業時間	
ローンプラザ福島支店	月～金曜 10:00～18:00	土・日曜 10:00～16:00
ローンプラザ須賀川支店		
ローンプラザ会津支店		
郡山ローンセンター(新さくら通り支店内)	月～金曜 9:00～17:00	
白河ローンセンター(新白河支店内)		
いわきローンセンター(いわき鹿島支店内)		

○お気軽にご相談ください

ローン は トー ホー  
0120-608104

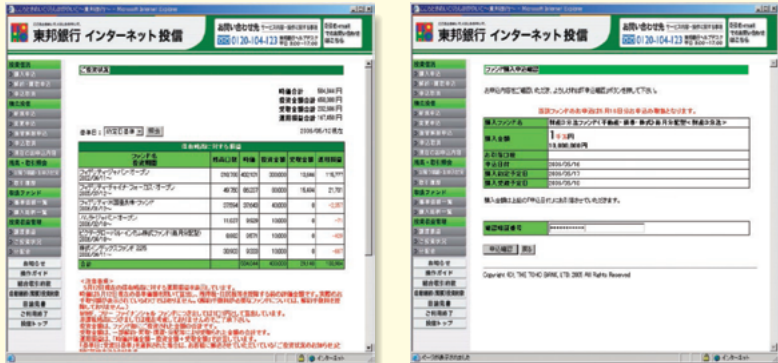
※お電話は各店の営業時間内に承ります。  
※平日15:00以降と土・日曜日は相談業務のみとなります。  
※祝日および12月31日～1月3日、5月3日～5月5日は休業とさせていただきます。  
※ただし、祝日と土・日曜日が重なった日はご利用いただけます。

## インターネット投資信託サービス

インターネット投資信託サービスは、投資信託の購入・解約や積立投信の新規・変更などのお取引が、窓口へのご来店や面倒な申込書のご記入などをいただくことなく、パソコンからの簡単な操作でご利用いただける個人のお客さま向けの便利なサービスです。

ご自宅で24時間\*日々変動するファンドの運用損益をタイムリーにご確認いただき、ご自分のペースでじっくりと資産運用をご検討のうえ、投資信託をお取引いただけます。

※一部メンテナンス時間(原則、午前3時～午前5時)を除きます。



- 本サービスは個人のお客さまのみ対象となります。
- 本サービスのご利用にはダイレクトバンキングのご契約が必要です。

## 資産形成へのアドバイス

多様化するお客さまの資産形成ニーズにお応えるため、福島駅前支店内にある「お金運用プラザ」では、専門のスタッフが多彩な金融商品についてご説明するとともに、資産運用セミナーを毎月開催し、お客さまのライフプランをサポートしております。

## 証券仲介業務

お客さまの幅広いニーズにお応えるために、平成17年10月より本店営業部において証券仲介業務の取扱を開始し、その後取扱店を会津支店、郡山支店に拡大しました。

証券総合口座の開設や外国債券の売買が可能となり、当行の資産運用商品がさらに充実いたしました。



## 「自然環境保護ファンド・尾瀬紀行」販売開始

平成18年5月より群馬銀行、第四銀行及び興銀第一ライフ・アセットマネジメントと共同で、それぞれ收受した信託報酬の一部を財団法人尾瀬保護財団へ寄付を行い、財団を通じて尾瀬保護地区の自然環境保護に貢献する投資信託の設定・販売を開始しました。

当行におけるCSRとして尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けることにより、地域社会の発展と全国的にも知名度の高い尾瀬の自然を愛する多くの皆さまのために貢献してまいります。

## 財団法人東邦銀行文化財団の運営

(財)東邦銀行文化財団は、文化・スポーツ団体への助成事業や、機関誌の発行などを通して、福島県内の文化・スポーツ活動を幅広く支援しています。

また、同財団が運営する「原郷のこけし群西田記念館」では、こけし収集の第一人者である故西田峰吉氏の愛蔵品を中心に、こけしや木地玩具、文献、資料等を展示しています。



## 社会貢献者表彰制度

個々人が「良き市民」として汗を流す、個人レベルでの貢献こそが真の社会貢献活動につながるものであるとの考え方に立ち、当行では一人でも多くの人たちに社会貢献活動への理解と参加を促すため、平成5年4月「社会貢献者表彰制度」を創設し、従業員および退職者の地域社会への貢献活動を表彰しています。

## 「ふくしま駅伝」への協賛

福島県民総ぐるみのイベントである「ふくしま駅伝」への協賛を通して、福島県のスポーツ振興、陸上競技の技術力向上を支援しています。

## 財団法人 東邦育英会

(財)東邦育英会は、昭和58年3月に、教育の面から地域社会の発展に寄与することを目的に設立され、修学を望む高校生を広く厚く支援しております。

## 「小さな親切」運動の実施

当行は、「小さな親切」運動の福島県本部事務局を担当し、福島県内のクリーン作戦の実施や、各団体・個人等に対する実行章の伝達、福島県社会福祉協議会への車椅子の寄贈等、同運動の活動や企画・運営に積極的に携わっています。



# 18年度中間決算のご報告

●中間貸借対照表とは…中間期末における資金の運用・調達の状況等を示します。

第104期中(平成18年9月30日現在) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	79,389	預 金	2,523,695
コールローン	101,709	譲 渡 性 預 金	108,645
買入金銭債権	3	コ ー ル マ ネ ー	4,923
商品有価証券	1,485	外 国 為 替	82
金 銭 の 信 託	11,802	社 債	15,000
有 価 証 券	727,535	そ の 他 負 債	7,509
貸 出 金	1,860,467	役員賞与引当金	17
外 国 為 替	583	退職給付引当金	9,402
そ の 他 資 産	8,969	再評価に係る繰延税金負債	4,719
有形固定資産	39,611	支 払 承 諾	16,175
無形固定資産	2,369	<b>負債の部合計</b>	<b>2,690,171</b>
繰延税金資産	17,141	<b>(純資産の部)</b>	
支払承諾見返	16,175	資 本 金	18,684
貸倒引当金	△52,934	資 本 剰 余 金	8,819
		資本準備金	8,818
		その他資本剰余金	1
		利 益 剰 余 金	86,041
		利 益 準 備 金	7,715
		その他利益剰余金	78,326
		自 己 株 式	△159
		株 主 資 本 合 計	113,387
		その他有価証券評価差額金	9,995
		繰延ヘッジ損益	△39
		土地再評価差額金	795
		評価・換算差額等合計	10,751
		<b>純資産の部合計</b>	<b>124,138</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>2,814,309</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,814,309</b>

**資産の部**  
 企業や個人へのご融資である「貸出金」、債券や株式での運用を表す「有価証券」、短期金融市場での運用を表す「コールローン」などの資金の運用状況を表しています。

**負債の部**  
 「預金」等、主に資金の調達状況を表しています。

**純資産の部**  
 株主の皆さまからのご出資である「資本金」や、これまでの利益の蓄えである「剰余金」等を表しています。

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● **中間損益計算書とは**…半年間の営業の結果、どのように利益が生じたかを示します。

**第104期中**(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで) **中間損益計算書**

(単位:百万円)

**経常収益** ……  
企業の売上高と同様に、貸出金利息や各種手数料等の収益を表します。

科 目	金 額
<b>経 常 収 益</b>	<b>29,222</b>
資金運用収益	22,603
(うち貸出金利息)	(17,791)
(うち有価証券利息配当金)	(4,697)
役務取引等収益	5,341
その他業務収益	427
その他経常収益	850
<b>経 常 費 用</b>	<b>24,002</b>
資金調達費用	1,233
(うち預金利息)	(675)
役務取引等費用	1,981
その他業務費用	2,046
営業経費	18,089
その他経常費用	651
<b>経 常 利 益</b>	<b>5,220</b>
特別利益	3
特別損失	264
税引前中間純利益	4,959
法人税、住民税及び事業税	614
法人税等調整額	1,326
<b>中 間 純 利 益</b>	<b>3,018</b>

**経常費用**  
企業の売上原価と同様に、預金利息や営業経費等の費用を表します。

**経常利益** ……  
経常収益から経常費用を控除したものです。

**中間純利益**  
経常利益に、特別損益や法人税等を加減して算出し、当上半期中の利益を表します。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(ご参考) **第104期中**(平成18年9月30日現在) **中間信託財産残高表**

(単位:百万円)

資 産	金 額	負 債	金 額
有 価 証 券	36	金 銭 信 託	73
信 託 受 益 権	37		
合 計	73	合 計	73

(注) 1. 共同信託他社管理財産の取扱いはありません。  
2. 元本補てん契約のある信託の取扱いはありません。  
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(ご参考)

# グループの18年度中間決算のご報告(連結情報)

## 中間連結貸借対照表

(平成18年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	79,395	預 金	2,522,877
コールローン及び買入手形	101,709	譲 渡 性 預 金	108,515
買入金銭債権	3	コールマネー及び売渡手形	4,923
商品有価証券	1,485	借 用 金	3,907
金銭の信託	11,802	外 国 為 替	82
有 価 証 券	727,861	社 債	15,000
貸 出 金	1,851,027	そ の 他 負 債	8,771
外 国 為 替	583	役員賞与引当金	17
そ の 他 資 産	10,877	退職給付引当金	9,446
有形固定資産	51,723	再評価に係る繰延税金負債	4,719
無形固定資産	4,009	支 払 承 諾	16,175
繰延税金資産	17,252	<b>負債の部合計</b>	<b>2,694,436</b>
支払承諾見返	16,175	<b>(純資産の部)</b>	
貸倒引当金	△53,017	資 本 金	18,684
		資 本 剰 余 金	8,819
		利 益 剰 余 金	86,673
		自 己 株 式	△191
		株 主 資 本 合 計	113,986
		その他有価証券評価差額金	9,995
		繰延ヘッジ損益	△39
		土地再評価差額金	795
		評価・換算差額等合計	10,751
		少 数 株 主 持 分	1,714
		<b>純資産の部合計</b>	<b>126,452</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>2,820,889</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,820,889</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 子会社・子法人等

会社名	主要業務内容
東邦ビジネスサービス(株)	現金等整理精査・集配金業務
東邦不動産サービス(株)	動不動産保守管理業務
東邦スタッフサービス(株)	労働者派遣管理業務
東邦リース(株)	リース業務
東邦情報システム(株)	電子計算機ソフトウェア開発業務



## 中間連結損益計算書

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	32,142
資 金 運 用 収 益	22,561
（うち貸出金利息）	(17,748)
（うち有価証券利息配当金）	(4,697)
役 務 取 引 等 収 益	5,340
そ の 他 業 務 収 益	3,405
そ の 他 経 常 収 益	836
経 常 費 用	26,772
資 金 調 達 費 用	1,250
（うち預金利息）	(675)
役 務 取 引 等 費 用	1,981
そ の 他 業 務 費 用	4,976
営 業 経 費	17,892
そ の 他 経 常 費 用	671
経 常 利 益	5,370
特 別 利 益	3
特 別 損 失	264
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	5,109
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	688
法 人 税 等 調 整 額	1,323
少 数 株 主 利 益	85
中 間 純 利 益	3,012

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 関連法人等

会社名	主要業務内容
東邦コンピューターサービス(株)	電子計算機による計算業務
東邦信用保証(株)	信用保証業務
(株)東邦カード	クレジットカード業務および信用保証業務
(株)東邦クレジットサービス	クレジットカード業務および信用保証業務

## 市場誘導業務の取扱開始

平成18年6月、証券会社3社(野村證券株式会社、大和証券株式会社、日興コーディアル証券株式会社)と業務提携し、企業の株式公開を支援する市場誘導業務の取扱いを開始しました。これにより株式公開ニーズをお持ちのお取引先に対し、より充実した質の高いサービスを提供してまいります。

### 【主な提携業務内容】

- 株式公開に向けた準備業務の指導・支援
- 持株会設立指導・支援
- ストックオプション導入指導・支援
- 投資家向け広報(IR)指導・支援

## キャッシュカード犯罪防止への取組み

東邦銀行では社会問題化しているキャッシュカード犯罪の防止のために、様々な取組みを行っております。主な取組み、サービスは以下のとおりです。

- カード紛失・盗難等の24時間365日受付  
【受付電話番号 024-543-1845】
- 1日あたりご利用限度額の任意設定サービス
- ATMでの暗証番号変更受付
- ATMでの異常取引検知システムの対応 など

さらに、平成17年12月1日以降、偽造・盗難キャッシュカードの不正使用により被害に遭われたお客さまを対象として被害の補償を行うとともに、補償開始日より前(平成15年12月1日～平成17年11月30日)に盗難による不正使用の被害に遭われたお客さまにつきましても、一定の条件により被害の補償をさせていただいております。

## ICキャッシュカードの取扱開始

偽造キャッシュカードによる預金の不正被害を未然に防止し、お客さまにより安心して当行をご利用いただけるように、6月からICキャッシュカードの取扱を開始いたしました。

ICキャッシュカードは、高度な暗号化技術により偽造や不正な情報読み取りなどが非常に困難なICチップを搭載しており、従来の磁気ストライプのキャッシュカードに比べて高い安全性を確保しているキャッシュカードです。

またICキャッシュカードをご利用いただけるATMを、取扱開始当初より当行本支店に各店1台ずつ設置し、順次増設しております。



## 株式会社についてのご案内

### 事業年度

当行の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までの1年とします。

### 株式数・株主数

株式数 ・発行可能株式総数……………798,256,000株  
 ・当中間期末の発行済株式の総数  
 ………………223,249,946株  
 株主数 ・当中間期末現在株主数……………10,994名

### 配当

期末配当の基準日は、毎年3月31日といたします。  
 中間配当をする場合は、取締役会の決議によって、毎年9月30日を基準日として配当いたします。  
 配当金のお受取りには、当行本支店の預金口座振込をご指定くださいますと速くて便利です。

### 定時株主総会

毎事業年度終了後3か月以内に開催いたします。

### 定時株主総会の基準日

定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日といたします。

### 単元株式数

当行の単元株式数は、1,000株といたします。

### 株主名簿管理人

事務取扱場所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
 日本証券代行株式会社  
 電話 ☎0120-707-843  
 同 取 次 所 日本証券代行株式会社支店

### 株式取扱手数料(消費税込)

1. 株式名義書換……………無料
2. 株券の分割、汚損などによる再発行  
 ………………株券 1枚につき210円
3. 不所持申出株券の交付……………株券 1枚につき210円
4. 単元未満株式の買取りおよび買増し  
 ……買取または買増代金に対して所定の方法で算出した金額に消費税相当額を加えたもの
5. 株券喪失登録の請求  
 ・株券喪失登録請求……………1請求につき8,400円  
 ・株券登録……………株券 1枚につき115円

### 公告掲載新聞

福島市において発行する福島民報、福島民友  
 東京都において発行する日本経済新聞

(お知らせ)

当行は、第103期より決算公告に代えて、貸借対照表・損益計算書および連結貸借対照表・連結損益計算書等を当行ホームページ  
 (<http://www.tohobank.co.jp/invest/finan/index.html>)に掲載しております。

## 役員

(平成18年9月30日現在)

取締役頭取	瀬谷 俊雄
取締役副頭取	北村 清士
常務取締役	近藤 哲
常務取締役	本柳 博之
常務取締役	内山 忠
常務取締役	佐藤 文隆
常務取締役	遠藤 博
常務取締役	天野 次宣
取締役	武藤 政記

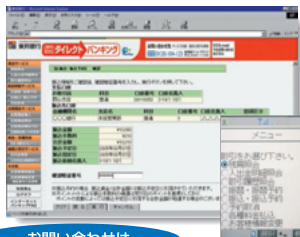
取締役	佐久間 守
取締役	高荒 俊勝
取締役	渡辺 正彦
取締役	斎藤 巧
常勤監査役	松野 孝司
常勤監査役	川崎 和夫
監査役	伊佐山慎太郎
監査役	齋藤 信一
監査役	芳賀 裕

いつでも、どこからでも残高照会、振替・振込などが  
お取引いただけます!

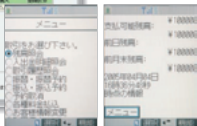
〈東邦〉  
Direct  
Banking

## ダイレクトバンキング

〈インターネットバンキング〉



〈モバイルバンキング〉



お問い合わせは

東邦銀行  
ハローサービスセンター



フリーダイヤル  
**0120-14-8656**

トーン

ハローコール

●受付時間  
平日9:00~17:00  
(土・日・祝祭日を除きます。)

〈東邦〉ダイレクトバンキングで  
3つのサービスをご利用いただけます。



### テレフォンバンキング

固定電話を経由してのお取引



### インターネットバンキング

インターネットを経由してのお取引



### モバイルバンキング

携帯電話を経由してのお取引

※本サービスは個人の方が対象となります。  
※本サービスのご利用には、事前のご契約と月額利用手数料(210円)が必要です。

## 〈東邦〉法人インターネットバンキングサービス

# たすがる君-WEB

インターネットに接続可能なパソコンから、  
簡単な操作で、残高照会やお振込みがで  
きるサービスです。

こんなことにお悩みではありませんか?

- 口座残高、入出金状況の確認が大変。
- 当座・普通預金間の資金移動に手間がかかって大変。
- 振込用紙を手書きして窓口で手続きするのが大変。
- 振込手数料の計算が大変。

〈東邦〉たすがる君-WEBなら、  
このようなお客様の悩みを解決し、  
経理事務の効率化・省力化が図れます。

### 〈東邦〉たすがる君-WEBのメリット

- メリット 1 ご来店の手間が省けます。
- メリット 2 お振込の事務・経費負担を削減できます。
- メリット 3 簡単にお取引を開始できます。
- メリット 4 セキュリティ対策も万全です。

たすがる君

	3万円未満	3万円以上
振込手数料が	無料	無料
同一店	窓口より <b>210円おトク!</b>	窓口より <b>420円おトク!</b>
本支店	105円 窓口より <b>210円おトク!</b>	315円 窓口より <b>210円おトク!</b>
他行	420円 窓口より <b>210円おトク!</b>	630円 窓口より <b>210円おトク!</b>

※本サービスは法人・個人事業主の方が対象となります。  
※本サービスのご利用には、事前のご契約と、契約手数料(5,250円)および月額基本手数料(1,050円または3,150円)が必要です。

お問い合わせは

東邦銀行IB照会センター



フリーダイヤル  
**0120-104-110**

●受付時間 平日9:00~18:00  
(土・日・祝祭日を除きます。)

くわしくは **東邦銀行ホームページ** <http://www.tohobank.co.jp/>

平成18年12月 発行 東邦銀行総合企画部広報室

〒960-8633 福島市大町3番25号 電話 (024) 523-3131



このミニディスクロージャー誌は  
大豆油インクを使用しております。  
●本誌は、再生紙を使用しています。